

河岸侵食、氾濫流、浸水継続時間、計画規模降雨浸水深について ①

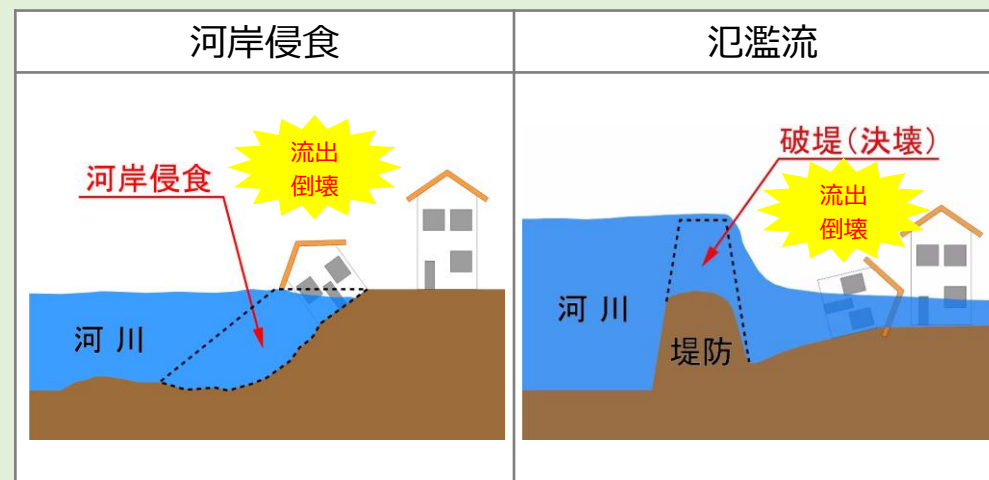
河岸侵食、氾濫流（家屋倒壊等氾濫想定区域）

洪水時に家屋の流失・倒壊をもたらすような氾濫が発生するおそれがある範囲を示すもので、洪水時における屋内安全確保（垂直避難）の適否の判断等への活用が期待されます。

家屋倒壊等氾濫想定区域には、河岸侵食と氾濫流があります。

・**河岸侵食**：洪水時の河川の激しい流れにより河岸が侵食され、土地が流出し、家屋が流出・倒壊するおそれのある区域です。

・**氾濫流**：洪水で堤防が破堤（決壊）することで、河川から流れ込む水の力により、家屋が流出・倒壊するおそれのある区域です。木造2階建て家屋を想定しています。



家屋倒壊等氾濫想定区域の模式図（長野建設事務所）

河岸侵食、氾濫流、浸水継続時間、計画規模降雨浸水深について ②

浸水継続時間

洪水時に避難が困難とされている0.5m以上の浸水深を上回る時間と区域を示しています。
浸水継続時間が長い地域では、洪水時に屋内安全確保（垂直避難）が可能であっても、その後の長期間の浸水により生活や企業活動の再開等に支障が出る恐れがあるため、立ち退き避難（水平避難）の要否の判断等への活用が期待されます。

計画規模降雨 浸水深

計画規模の降雨とは、洪水を防ぐための計画を作成する際に目標とする降雨です。
計画規模の降雨により当該河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域を地図上に示したものです。
解析方法および表示方法は想定最大規模降雨と同じです。